

4. 電子証明書について

4-1. 電子証明書とはどのようなものですか

当組合が発行する電子証明書を、お客さまのパソコンにインストールすることにより、利用できるパソコンを限定し、第三者による不正利用のリスクを軽減し、セキュリティ面での強化が図れます。万一、ID・パスワードが悪意のある第三者に知られたとしても、正当な電子証明書を所有しない限り認証されませんので、ID・パスワード方式よりも安全性が高い認証方式です。

4-2. 電子証明書を利用する場合どのような手続が必要ですか

「申込書」の提出が必要となりますので、お取引店にて所定の手続きを行ってください。

4-3. 電子証明書の利用には手数料がかかりますか

電子証明書のご利用に伴う新たな手数料はございません。

4-4. 電子証明書は何枚まで利用できますか

電子証明書の発行は、1つのIDにつき1枚となり、最大100枚まで発行が可能です。
(マスターユーザで1枚、一般ユーザで最大99枚の合計100枚です。)
※複数のユーザIDで同じ電子証明書を共有することはできません。

4-5. 電子証明書はどのパソコンでも利用できるのですか

電子証明書は、WindowsのInternet Explorerのみご利用いただけます。
その他のOS・ブラウザではご利用できません。

4-6. 電子証明書には有効期間はありますか

電子証明書の有効期間は、電子証明書を発行してから1年間です。
電子証明書の有効期間の30日前になると、操作画面およびEメールでお知らせしますので、必ず有効期間までに更新操作を行ってください。

【更新方法】

1. ログイン後のトップページに「電子証明書更新」ボタンが表示される。
2. 「電子証明書更新」ボタンをクリックし、証明書取得画面へ進む。
3. 「発行」ボタンをクリックし、電子証明書を取得。

4-7. 電子証明書の有効期間が切れてしまったが、更新できますか

電子証明書は更新が可能です。
電子証明書の有効期限が切れると、電子証明書を利用してログインができなくなります(証明書の選択ボタンが表示されなくなります)。
その場合は、「電子証明書発行」ボタンから更新操作をおこなってください。

4-8. パソコンを入れ替える場合、どのような手続きが必要ですか

現在取得している電子証明書を一旦失効し、再取得する必要があります。
マスターユーザが画面上で失効手続きができます。失効後、入れ替えたパソコンで電子証明書を再取得してください。
マスターユーザのパソコンが壊れ、手続きができない場合は、お取引店窓口での失効手続きが必要となります。

4-9. ドメイン変更、社内LANの回線変更をおこなった場合、電子証明書ログインが行えなくなりますか

ログインは行えます。
ただし、社内LANのネットワークでサーバー変更があった場合には、電子証明書発行時の環境と異なるため認証が行えなくなる可能性があります。
その場合には電子証明書の失効と再発行のお手続きが必要となります。

4-10. 電子証明書失効手続きはどのように行うのですか

- 一般ユーザの場合
～マスターユーザに電子証明書失効操作を依頼してください。
- マスターユーザの場合
 - ◇ログイン可能な場合
～ご自身で電子証明書失効操作をおこなってください。以下の操作にて電子証明書の失効ができます。
 1. 「管理」メニューより「利用者管理」→「証明書失効」へ進む。
 2. 失効する利用者を選択し、「失効」ボタンをクリック。
 3. 証明書失効画面で、確認用パスワードを入力の上、「実行」ボタンを押下。
 - ◇ログイン不可能な場合
～電子証明書の失効には「申込書」の提出が必要となりますので、お取引店にて所定の手続きを行ってください。

4-11. 電子証明書失効手続き後、どのような操作が必要ですか

電子証明書の再発行操作が必要となります。
【操作方法】

1. ログイン画面より「電子証明書発行」ボタンをクリックし、証明書取得画面へ進む。
2. ログインIDとログインパスワードを入力の上、「認証」ボタンを押下。
3. 「発行」ボタンをクリックし、電子証明書を取得する。

※詳細については、ご利用マニュアルの「電子証明書発行」を参照してください。

4-12. 電子証明書の更新案内のEメールが届きましたが、どうしたらいいのですか

電子証明書の更新操作を行ってください。
電子証明書の有効期限の30日前になると、操作画面およびEメールでお知らせしますので、必ず有効期限までに更新操作を行ってください。
【更新方法】

1. ログイン後のトップページに「電子証明書更新」ボタンが表示される。
2. 「電子証明書更新」ボタンをクリックし、証明書取得画面へ進む。
3. 「発行」ボタンをクリックし、電子証明書を取得。

4-13. 電子証明書の有効期限はどのようにしたら確認できますか

電子証明書の有効期限は、1年間です。

マスターユーザが以下の方法で確認することができます。

【確認方法】

1. 「管理」メニューより「利用者管理」→「証明書失効」へ進む。
2. 利用者一覧画面で有効期限を確認。

4-14. 電子証明書の有効期限が終了した電子証明書は自動的に削除されますか

一度発行された電子証明書は自動的に削除されません。

期間内、期限切れに関わらず電子証明書の一覧に表示されています。

一覧の表示では、有効期間は確認できません（詳細表示ボタンを押すと、有効期限切れの旨、表示されます）。

また、ログインを行う際の電子証明書選択ダイアログでの表示も変わりません。

【古い電子証明書の削除方法】

1. **Internet Explorer** を起動し、メニューバーより [ツール] → [インターネットオプション] をクリック。
2. [コンテンツ] タブをクリックし、[証明書] ボタンをクリックすると、[証明書] の管理画面が表示される。
3. [個人] タブをクリックする。
4. [個人] タブの一覧に表示される証明書がご本人さまの証明書です。
5. 一覧から削除したい証明書（発行先が「★**usinessBanking**」となっている証明書）をクリックし、[削除] ボタンをクリックする。

4-15. Windows 7で電子証明書の発行ができませんでしたどうしたらいいのですか

Windows 7で電子認証方式を利用される場合、マイクロソフト社より提供されている SP1 の適用が必要となります。マイクロソフト社のホームページを参考に SP1 を適用してください。

4-16. 電子証明書の発行時に潜在するスクリプト違反ダイアログが出力されるのですが、どうしたらいいのですか

「潜在するスクリプト違反」ダイアログは、**Internet Explorer** で証明書を発行するときに利用する **ActiveX** コンポーネント(xenroll.dll)が出力するものです。このダイアログは申請者に注意を促すためのメッセージです。正常に発行を行っている場合には問題ありません。また、本ダイアログでは必ず「はい」を選択してください。

4-17. 電子証明書の発行が正常に終了しましたが、ブラウザで確認したところ電子証明書がインストールされていないのですが、どうしたらいいのですか

1. ブラウザの種類を確認発行を行ったブラウザと異なるブラウザ環境を利用されていませんか。Internet Explorer で発行した証明書は Safari、Firefox ではご利用になれません。
2. ログインユーザの確認電子証明書を発行したユーザと異なるユーザでログインしていませんか。OS ではユーザ毎に別々に電子証明書を管理しています。そのため、電子証明書を発行したユーザがログインしないと電子証明書は表示されません。
3. 「更新」での確認画面に証明書発行結果画面が表示されて、部分的に文字化けしていませんか。この場合、ネットワークの問題などにより電子証明書の追加途中でエラーが発生している可能性があります。ブラウザの「更新」ボタンを押してください。再度通信を行うことでブラウザに正しく電子証明書が追加される場合があります。
4. 上記以外の場合その他の障害で電子証明書が正しく追加できていない可能性があります。この場合、電子証明書を失効後に再発行を行う必要があります。